

## 【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成27年12月24日提出
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柴田 拓美
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	森川 晃
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	アジア債券ファンド（毎月分配型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

有価証券報告書を提出しましたので平成27年 6月19日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、また、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

## 2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」および「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載しています。

## 第二部【ファンド情報】

## 第1【ファンドの状況】

## 1【ファンドの性格】

## (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

&lt;更新後&gt;

ファンドの特色

特色  
1**アジア\*のソブリン債券・準ソブリン債券を中心に投資します。**

\*日本は投資対象から除きます。

- ・アジアの自国通貨建てソブリン債券・準ソブリン債券のほか、米ドルなどの外国通貨建てソブリン債券・準ソブリン債券にも投資します。(米ドルなどの外国通貨建て債券に投資した場合は、原則として、実質的に自国通貨建てとなるように為替取引を行いません。)
- ・また、流動性確保の観点などから、上記以外の債券にも投資することがあります。

※ソブリン債券とは、各国政府、政府機関、国際機関が発行する債券の総称です。なお、政府保証債(各国政府が元利払いを保証する債券)も含まれます。

※準ソブリン債券とは、各国政府などが株式等資本の過半数を直接・間接的に保有し、実質的に支配している企業が発行する債券とします。

特色  
2**金利水準、為替動向および流動性などに基づき投資国を選定して投資し、安定的な利子収入および債券・通貨の値上がり益の獲得をめざします。**特色  
3**原則として、毎月、安定した分配を行なうことをめざします。**

- ・主に組入債券の利子収入や値上がり益などを原資として、毎決算時に安定した収益分配を行なうことをめざします。
- ・毎月20日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。



## 世界の中でも存在感を増すアジア\*の債券に投資

\*日本は投資対象から除きます。

### 投資対象国・地域

今後、相対的に高い経済成長が期待されるアジアのソブリン債券・準ソブリン債券を中心に投資を行ないます。



#### 主要投資対象国・地域

##### 東アジア地域

中国、韓国、香港、台湾 など

##### 東南アジア地域

シンガポール、マレーシア、タイ、  
フィリピン、インドネシア など

##### 南アジア地域

インド など

\*日本は投資対象から除きます。

## 運用プロセス

- 金利水準、為替動向および流動性などにに基づき投資国を選定して投資し、安定的な利子収入および債券・通貨の値上がり益の獲得をめざします。
- 当ファンドの実質的な運用を行なう日興アセットマネジメントアジアリミテッドの運用プロセスは以下の通りです。



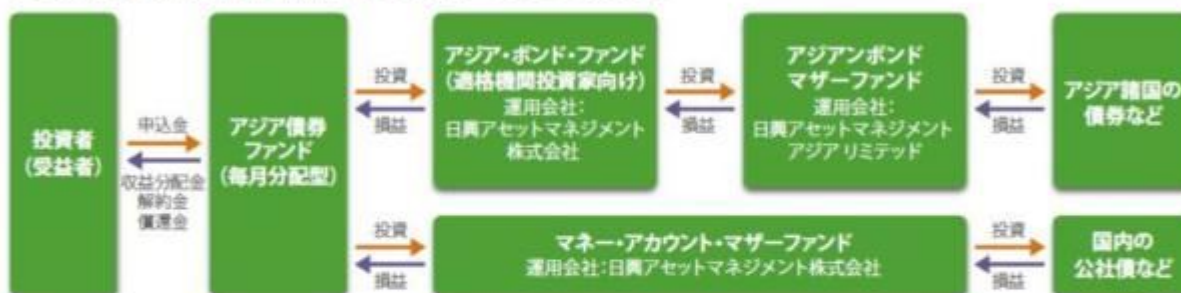
※投資国の見直しは随時行ないます。

※上記は2015年10月末現在の運用プロセスであり、将来変更となる場合があります。



## ファンドの仕組み

●当ファンドは、投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。



### (主な投資制限)

- ・投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

### (分配方針)

- ・毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

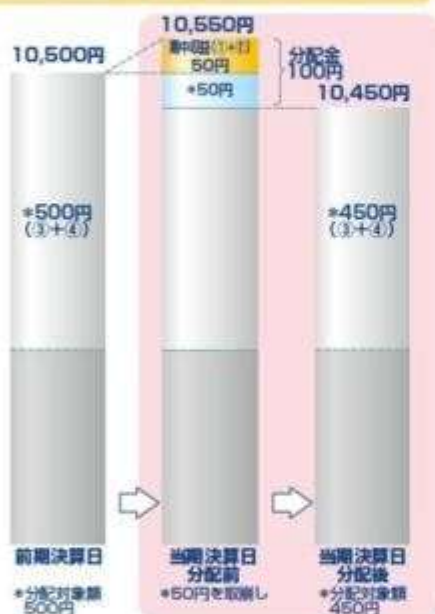
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

- ・普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- ・元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

### (3) 【ファンドの仕組み】

< 更新後 >

委託会社の概況（平成27年10月末現在）

#### 1) 資本金

17,363百万円

## 2) 沿革

昭和34年：日興証券投資信託委託株式会社として設立

平成11年：日興国際投資顧問株式会社と合併し「日興アセットマネジメント株式会社」に社名変更

## 3) 大株主の状況

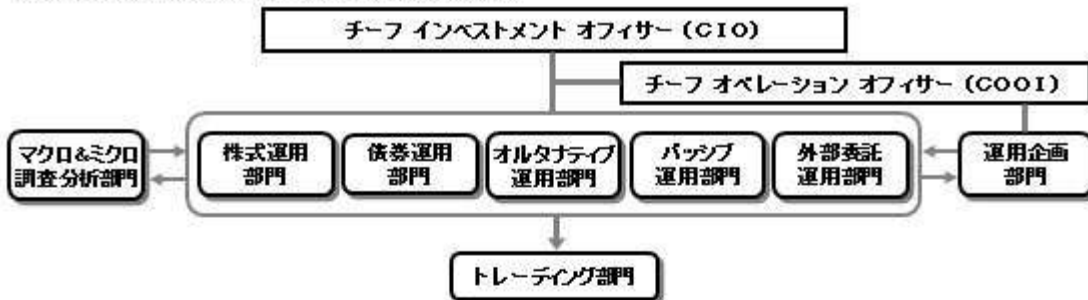
名 称	住 所	所有株数	所有比率
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	179,869,100株	91.29%
DBS Bank Ltd.	6 Shenton Way, #46-00, DBS Building Tower One, Singapore 068809	14,283,400株	7.24%

## 2 【投資方針】

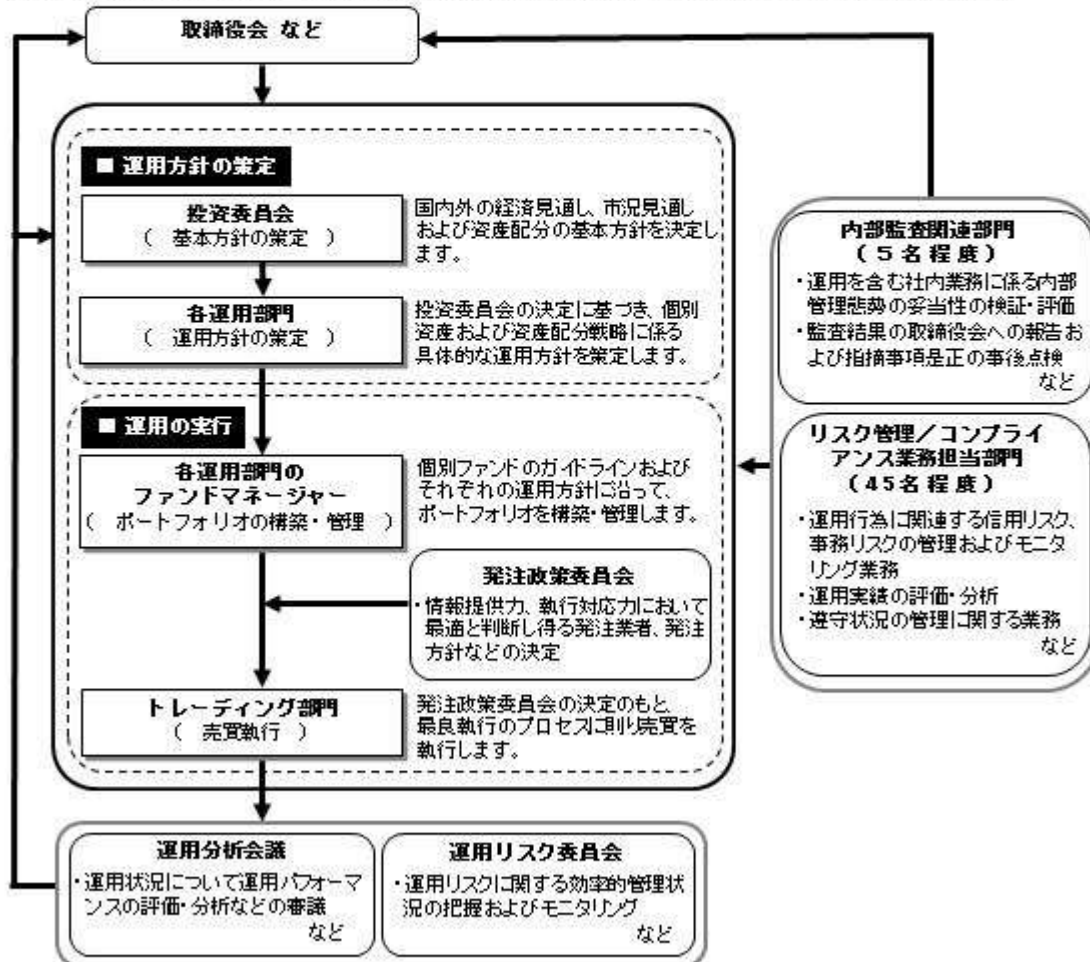
## (3) 【運用体制】

&lt;更新後&gt;

◆委託会社における運用体制は以下の通りです。



◆委託会社の運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織などは以下の通りです。



#### 委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

「受託会社」に対しては、日々の純資産照会、月次の勘定残高照会などを行っております。また、独立した監査法人が所定の手続きで受託業務について監査を行っており、内部統制が有効に機能している旨の監査報告書を定期的に受け取っております。

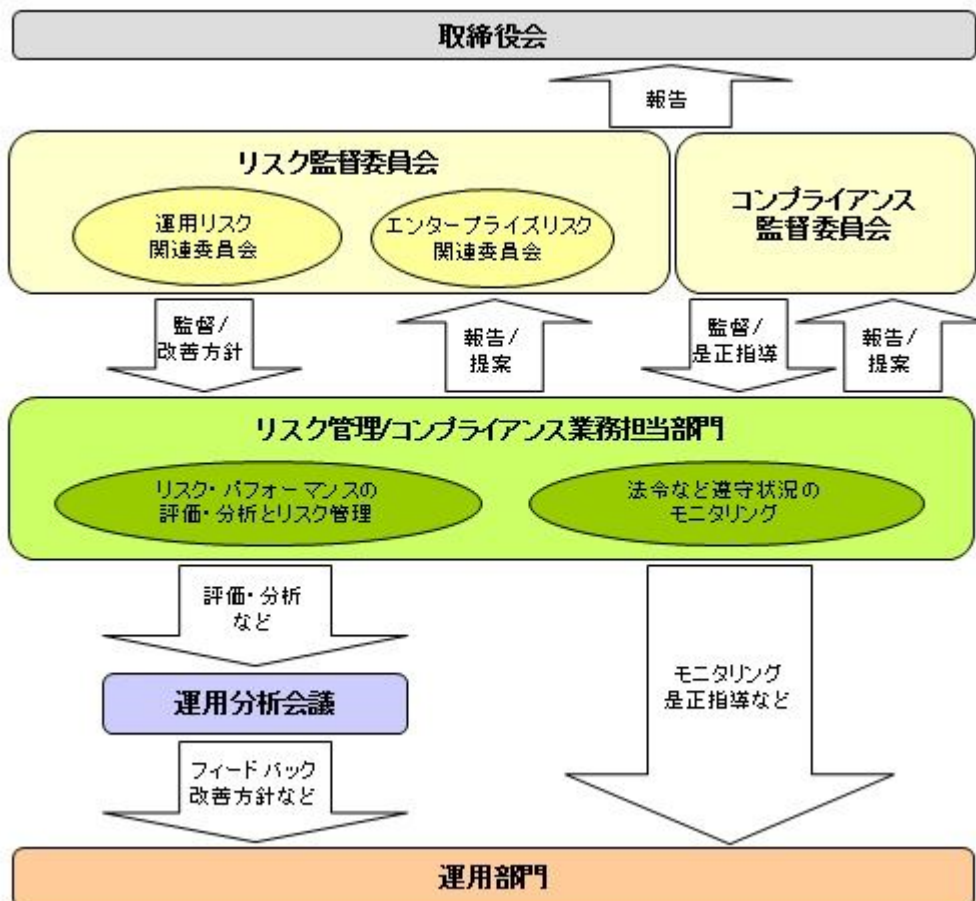
上記体制は平成27年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

### 3【投資リスク】

<更新後>

#### (2) リスク管理体制





### 全社リスク管理

当社では運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理/コンプライアンス業務担当部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。当社グループの法令などの遵守状況についてはコンプライアンス部門が事務局を務めるコンプライアンス監督委員会、リスク管理状況についてはリスク管理部門が事務局を務めるリスク監督委員会を通して経営陣に報告され、更に年一度以上取締役会に対して全体的な活動状況を報告しております。両委員会およびそれに関連する部門別委員会においては、法令遵守状況や各種リスク（運用リスク、事務リスク、システムリスクなど）に関するモニタリングとその報告に加えて、重要事故への対応と各種リスク対応、事故防止のための施策やその管理手法の構築などの支援に努めております。

### 運用状況の評価・分析および運用リスク管理

ファンド財産について運用状況の評価・分析および運用リスクの管理状況をモニタリングします。運用パフォーマンスおよび運用リスクに係る評価と分析の結果については運用分析会議に報告し、運用リスクの管理状況についてはリスク監督委員会あるいはその部門別委員会へ報告され、問題点の原因の究明や改善策の策定が図られます。加えて外部委託運用部門は、外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行なっています。

### 法令など遵守状況のモニタリング

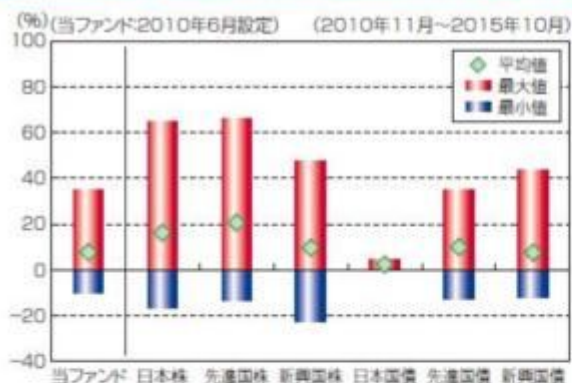
運用における法令・諸規則、信託約款などの遵守状況については、コンプライアンス業務担当部門が管理を行ないます。問題点についてはコンプライアンス関連の委員会に報告され、必要に応じ運用部門に対し是正指導が行なわれるなど、適切に管理・監督を行ないます。

上記体制は平成27年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

< 更新後 >

## (参考情報)

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



## (当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	7.7%	16.2%	20.6%	9.6%	2.3%	10.0%	7.6%
最大値	35.1%	65.0%	65.7%	47.4%	4.5%	34.9%	43.7%
最小値	-10.3%	-17.0%	-13.6%	-22.8%	0.4%	-12.7%	-12.4%

※上記は当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2010年11月から2015年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。ただし、当ファンドは直近1年間の騰落率が5年分ないため、設定日以降算出できる値を使用しています。

## &lt;各資産クラスの指数&gt;

日本株 …… 東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株 …… MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

新興国株 …… MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

日本国債 …… NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債 …… シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債 …… JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ヘッジなし、円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

## 東証株価指数(TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

## MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

## MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

## NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

## 当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、2010年11月末の基準価額を起点として指数化しています。

※当ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

## シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

## JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

### 4【手数料等及び税金】

#### （5）【課税上の取扱い】

##### < 更新後 >

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者の場合

##### 1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）のいずれかを選択することもできます。

##### 2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益（譲渡益）<sup>\*</sup>については譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座（源泉徴収選択口座）を選択している場合は、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

<sup>\*</sup>解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損（譲渡損失）については、上場株式等の譲渡益および上場株式等の配当等（申告分離課税を選択したものに限り、）と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益（譲渡益）および普通分配金（申告分離課税を選択したものに限り、）については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

##### < 平成28年1月1日以降 >

確定申告等により、解約時および償還時の差損（譲渡損失）については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限り、）と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限り、）については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、平成28年4月1日より、未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得

及び譲渡所得等の非課税措置（ジュニアNISA）が開始され、20歳未満の居住者などを対象に、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となる予定です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

#### 法人受益者の場合

##### 1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

##### 2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

#### 個別元本

##### 1) 各受益者の買付時の基準価額（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が個別元本になります。

##### 2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

#### 普通分配金と元本払戻金（特別分配金）

##### 1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

##### 2) 受益者が収益分配金を受け取る際

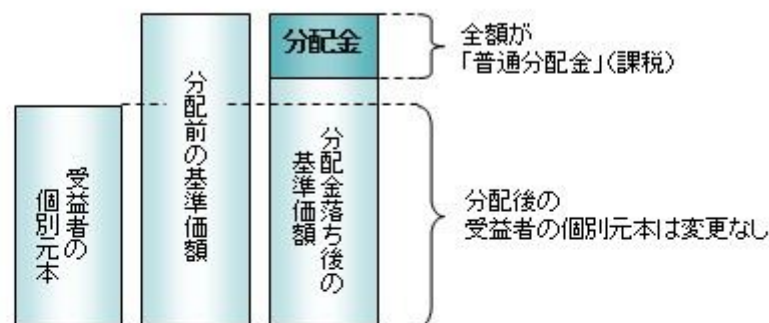
イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、収益分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した金額が普通分配金となります。

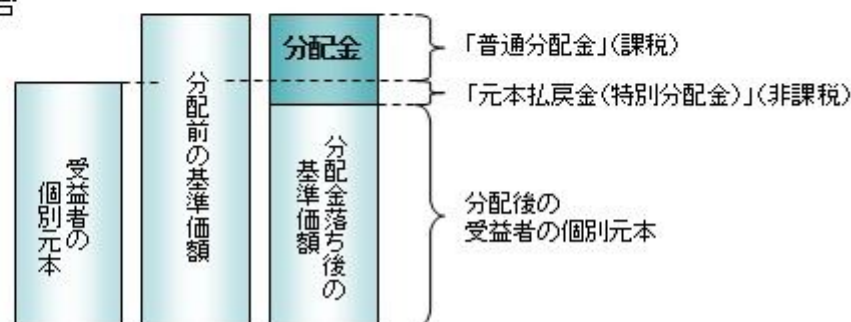
ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

#### <分配金に関するイメージ図>

##### イ) の場合



##### ロ)、ハ) の場合



上記は平成27年12月24日現在のものですので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## 【アジア債券ファンド（毎月分配型）】

以下の運用状況は2015年10月30日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (1)【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	日本	49,862,365	96.83
親投資信託受益証券	日本	50,741	0.10
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		1,580,761	3.07
合計（純資産総額）		51,493,867	100.00

## (2)【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

## イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	投資信託受益証券	アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）	53,039,427	0.9374	49,719,158	0.9401	49,862,365	96.83
日本	親投資信託受益証券	マネー・アカウント・マザーファンド	50,519	1.0043	50,736	1.0044	50,741	0.10

## ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	96.83
親投資信託受益証券	0.10
合計	96.93

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3)【運用実績】

## 【純資産の推移】

期別	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1特定期間末 (2010年 9月21日)	69	69	0.9897	0.9967
第2特定期間末 (2011年 3月22日)	145	146	0.9238	0.9308
第3特定期間末 (2011年 9月20日)	138	140	0.8731	0.8801
第4特定期間末 (2012年 3月21日)	134	135	0.9232	0.9282
第5特定期間末 (2012年 9月20日)	111	111	0.8523	0.8573
第6特定期間末 (2013年 3月21日)	119	120	1.0459	1.0509
第7特定期間末 (2013年 9月20日)	94	94	0.9248	0.9298
第8特定期間末 (2014年 3月20日)	81	82	0.8948	0.8998
第9特定期間末 (2014年 9月22日)	72	72	0.9289	0.9339
第10特定期間末 (2015年 3月20日)	71	71	0.9754	0.9804
第11特定期間末 (2015年 9月24日)	49	50	0.8712	0.8762
2014年10月末日	69		0.9250	
11月末日	74		0.9934	
12月末日	74		0.9880	
2015年 1月末日	73		0.9930	
2月末日	72		0.9858	
3月末日	71		0.9771	
4月末日	61		0.9711	
5月末日	62		0.9814	
6月末日	55		0.9538	
7月末日	55		0.9489	
8月末日	51		0.8937	
9月末日	49		0.8652	
10月末日	51		0.9007	

(注)分配付きの金額は、特定期間末の金額に当該特定期間末の分配金を加算した金額です。

## 【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	2010年 6月14日～2010年 9月21日	0.0200
第2特定期間	2010年 9月22日～2011年 3月22日	0.0420
第3特定期間	2011年 3月23日～2011年 9月20日	0.0420
第4特定期間	2011年 9月21日～2012年 3月21日	0.0360
第5特定期間	2012年 3月22日～2012年 9月20日	0.0300
第6特定期間	2012年 9月21日～2013年 3月21日	0.0300
第7特定期間	2013年 3月22日～2013年 9月20日	0.0300

第8特定期間	2013年 9月21日～2014年 3月20日	0.0300
第9特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0300
第10特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0300
第11特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0300

## 【収益率の推移】

期	期間	収益率(%)
第1特定期間	2010年 6月14日～2010年 9月21日	0.97
第2特定期間	2010年 9月22日～2011年 3月22日	2.41
第3特定期間	2011年 3月23日～2011年 9月20日	0.94
第4特定期間	2011年 9月21日～2012年 3月21日	9.86
第5特定期間	2012年 3月22日～2012年 9月20日	4.43
第6特定期間	2012年 9月21日～2013年 3月21日	26.23
第7特定期間	2013年 3月22日～2013年 9月20日	8.71
第8特定期間	2013年 9月21日～2014年 3月20日	0.00
第9特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	7.16
第10特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	8.24
第11特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	7.61

(注)各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(分配落ち)に当該特定期間の分配金を加算し、当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

## (4)【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数(口)	解約口数(口)
第1特定期間	2010年 6月14日～2010年 9月21日	70,592,510	380,000
第2特定期間	2010年 9月22日～2011年 3月22日	92,749,515	5,471,835
第3特定期間	2011年 3月23日～2011年 9月20日	10,841,018	9,229,937
第4特定期間	2011年 9月21日～2012年 3月21日	8,182,555	21,522,343
第5特定期間	2012年 3月22日～2012年 9月20日	12,422,321	27,571,029
第6特定期間	2012年 9月21日～2013年 3月21日	2,918,801	19,255,944
第7特定期間	2013年 3月22日～2013年 9月20日	9,303,760	21,568,751
第8特定期間	2013年 9月21日～2014年 3月20日	2,685,916	13,450,988
第9特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	1,752,983	14,998,049
第10特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	1,405,305	6,393,398
第11特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	4,122,515	19,909,670

(注)第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(参考)

## アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）

以下の運用状況は2015年10月30日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	49,743,664	99.53
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		233,201	0.47
合計（純資産総額）		49,976,865	100.00

## 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	親投資信託受益証券	アジアンボンドマザーファンド	38,018,698	1.3002	49,431,911	1.3084	49,743,664	99.53

## ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.53
合計	99.53

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

## アジアンボンドマザーファンド

以下の運用状況は2015年10月30日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
-------	------	---------	---------



国債証券	香港	128,020,626	9.98
	シンガポール	132,096,647	10.29
	マレーシア	182,500,575	14.22
	タイ	170,805,724	13.31
	フィリピン	182,613,562	14.23
	インドネシア	181,539,166	14.15
	韓国	110,809,004	8.64
	インド	47,076,646	3.67
	小計	1,135,461,950	88.48
特殊債券	韓国	38,176,805	2.98
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		109,602,743	8.54
合計（純資産総額）		1,283,241,498	100.00

## 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

## イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	42,000,000	360.80	151,536,558	363.58	152,707,063	3.625	2023/6/16	11.90
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	13,000,000,000	0.88	114,793,713	0.87	113,663,680	8.750	2031/5/15	8.86
香港	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT	5,000,000	1,563.74	78,187,200	1,570.49	78,524,565	0.790	2018/6/18	6.12
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	30,000,000	255.66	76,699,986	256.04	76,813,805	3.625	2025/9/9	5.99
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	800,000	8,522.98	68,183,872	8,647.42	69,179,384	2.375	2025/6/1	5.39
マレーシア	国債証券	MALAYSIAN GOVERNMENT	2,400,000	2,818.39	67,641,477	2,816.88	67,605,296	4.181	2024/7/15	5.27
マレーシア	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	2,300,000	2,817.00	64,791,013	2,824.94	64,973,831	3.759	2019/3/15	5.06
マレーシア	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	1,800,000	2,768.69	49,836,474	2,773.41	49,921,448	3.955	2025/9/15	3.89
インド	国債証券	INDIA GOVERNMENT BOND	25,000,000	186.57	46,644,149	188.30	47,076,646	7.830	2018/4/11	3.67
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	500,000	8,875.01	44,375,069	8,944.78	44,723,917	2.750	2023/7/1	3.49
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	300,000,000	12.33	36,996,293	13.16	39,492,790	3.750	2033/12/10	3.08
韓国	特殊債券	EXPORT-IMPORT BANK KOREA	2,000,000	1,907.00	38,140,000	1,908.84	38,176,805	4.100	2018/8/6	2.98
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	300,000,000	11.74	35,245,092	11.86	35,606,316	3.750	2022/6/10	2.77
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	15,000,000	243.55	36,533,600	235.15	35,273,123	3.625	2033/3/21	2.75
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	4,000,000,000	0.88	35,484,299	0.87	34,886,020	8.250	2021/7/15	2.72
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	10,000,000	265.86	26,586,649	261.25	26,125,042	3.875	2019/11/22	2.04

韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	200,000,000	11.57	23,159,490	11.86	23,731,533	3.500	2024/3/10	1.85
タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	5,000,000	359.85	17,992,946	361.97	18,098,661	3.650	2021/12/17	1.41
香港	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT	1,000,000	1,669.20	16,692,000	1,687.21	16,872,180	2.390	2025/8/20	1.31
香港	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT	1,000,000	1,662.64	16,626,480	1,667.20	16,672,076	2.310	2021/6/21	1.30
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	2,000,000,000	0.83	16,669,700	0.82	16,527,300	8.250	2036/5/15	1.29
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	2,000,000,000	0.82	16,482,800	0.82	16,462,166	5.250	2018/5/15	1.28
香港	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT	1,000,000	1,573.26	15,732,600	1,595.18	15,951,805	1.340	2019/6/24	1.24
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	6,000,000	252.55	15,153,524	250.19	15,011,450	2.125	2018/5/23	1.17
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	5,000,000	257.65	12,882,627	256.53	12,826,888	3.500	2021/3/20	1.00
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	90,000,000	12.78	11,502,242	13.30	11,978,365	4.000	2031/12/10	0.93
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	100,000	9,184.25	9,184,250	9,499.00	9,499,009	3.375	2033/9/1	0.74
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	3,000,000	289.92	8,697,651	296.57	8,897,232	6.375	2022/1/19	0.69
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	100,000	8,263.66	8,263,664	8,694.33	8,694,337	2.750	2042/4/1	0.68
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	3,000,000	256.99	7,709,985	255.53	7,666,022	3.375	2020/8/20	0.60

#### ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	88.48
特殊債券	2.98
合計	91.46

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

#### マネー・アカウント・マザーファンド

以下の運用状況は2015年10月30日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

#### 投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	日本	409,999,863	67.56

コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		196,896,568	32.44
合計(純資産総額)		606,896,431	100.00

## 投資資産

### 投資有価証券の主要銘柄

#### イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	利率(%)	償還期限	投資比率(%)
日本	国債証券	第550回国庫短期証券	300,000,000	99.99	299,999,919	99.99	299,999,919		2015/11/9	49.43
日本	国債証券	第548回国庫短期証券	80,000,000	99.99	79,999,974	99.99	79,999,974		2015/11/2	13.18
日本	国債証券	第564回国庫短期証券	30,000,000	99.99	29,999,970	99.99	29,999,970		2016/1/25	4.94

#### ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	67.56
合計	67.56

### 投資不動産物件

該当事項はありません。

### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

### 参考情報

## 運用実績

2015年10月30日現在

## 基準価額・純資産の推移



基準価額.....9,007円  
純資産総額.....0.51億円

※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。  
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

## 分配の推移(税引前、1万口当たり)

2015年6月	2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	最近1年間累計	設定来累計
50円	50円	50円	50円	50円	600円	3,550円

## 主要な資産の状況

## &lt;資産構成比率&gt;

組入資産	比率
アジア・ボンド・ファンド(適格機関投資家向け)	96.8%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
現金・その他	3.1%

※当ファンドの対純資産総額比です。

## アジア・ボンド・マザーファンド

(アジア・ボンド・ファンド(適格機関投資家向け)が組み入れるマザーファンドの状況です。)

## &lt;通貨別構成比率上位&gt;

通貨名	比率
インドネシアルピア	14.7%
マレーシアリングギット	14.4%
フィリピンペソ	14.4%
タイバーツ	13.5%
シンガポールドル	10.4%

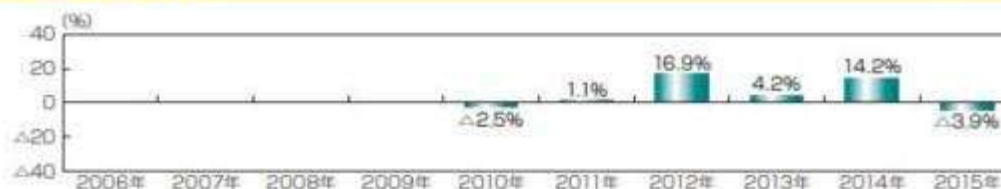
※比率は、当該マザーファンドの対純資産総額比です。

## &lt;債券組入上位10銘柄&gt;

	銘柄	種類	クーポン	償還日	比率
1	THAILAND GOVERNMENT BOND	国債証券	3.625%	2023/6/16	11.90%
2	INDONESIA GOVERNMENT	国債証券	8.75%	2031/5/15	8.86%
3	HONG KONG GOVERNMENT	国債証券	0.79%	2018/6/18	6.12%
4	PHILIPPINE GOVERNMENT	国債証券	3.625%	2025/9/9	5.99%
5	SINGAPORE GOVERNMENT	国債証券	2.375%	2025/6/1	5.39%
6	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.181%	2024/7/15	5.27%
7	MALAYSIA GOVERNMENT	国債証券	3.759%	2019/3/15	5.06%
8	MALAYSIA GOVERNMENT	国債証券	3.955%	2025/9/15	3.89%
9	INDIA GOVERNMENT BOND	国債証券	7.83%	2018/4/11	3.67%
10	SINGAPORE GOVERNMENT	国債証券	2.75%	2023/7/1	3.49%

※比率は、当該マザーファンドの対純資産総額比です。

## 年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドにはベンチマークはありません。

※2010年は、設定時から2010年末までの騰落率です。

※2015年は、2015年10月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

## 第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。  
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は、6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月ごとに作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、平成27年 3月21日から平成27年 9月24日までの特定期間の財務諸表について、P w C あらた監査法人による監査を受けております。

## 1【財務諸表】

## 【アジア債券ファンド（毎月分配型）】

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 平成27年 3月20日現在	当期 平成27年 9月24日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	2,604,692	1,862,945
投資信託受益証券	69,082,975	48,350,536
親投資信託受益証券	71,640	53,027
未収利息	4	3
流動資産合計	71,759,311	50,266,511
資産合計	71,759,311	50,266,511
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	47,432	40,253
未払収益分配金	365,062	286,126
未払受託者報酬	1,784	1,566
未払委託者報酬	59,800	52,594
その他未払費用	72,143	29,550
流動負債合計	546,221	410,089
負債合計	546,221	410,089
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	73,012,410	57,225,255
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,799,320	7,368,833
（分配準備積立金）	9,039,832	6,549,167
元本等合計	71,213,090	49,856,422
純資産合計	71,213,090	49,856,422
負債純資産合計	71,759,311	50,266,511

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日	当期 自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	2,495,685	2,103,862
受取利息	568	498

	前期		当期	
	自 至	平成26年 9月23日 平成27年 3月20日	自 至	平成27年 3月21日 平成27年 9月24日
有価証券売買等損益		3,687,129		5,910,621
営業収益合計		6,183,382		3,806,261
営業費用				
受託者報酬		11,438		9,984
委託者報酬		383,362		334,847
その他費用		35,365		30,874
営業費用合計		430,165		375,705
営業利益又は営業損失（ ）		5,753,217		4,181,966
経常利益又は経常損失（ ）		5,753,217		4,181,966
当期純利益又は当期純損失（ ）		5,753,217		4,181,966
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		25,980		28,484
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		5,546,951		1,799,320
剰余金増加額又は欠損金減少額		299,840		607,746
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		299,840		607,746
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		45,076		111,997
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		45,076		111,997
分配金		2,234,370		1,854,812
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,799,320		7,368,833

## ( 3 ) 【注記表】

( 重要な会計方針に係る事項に関する注記 )

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	当ファンドの計算期間は原則として、毎月21日から翌月20日までとなっております。ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日である日のうち、該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が始まるものといたしますので、当特定期間は平成27年 3月21日から平成27年 9月24日までとなっております。

( 貸借対照表に関する注記 )

		前期	当期
		平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
1.	期首元本額	78,000,503円	73,012,410円
	期中追加設定元本額	1,405,305円	4,122,515円
	期中一部解約元本額	6,393,398円	19,909,670円
2.	受益権の総数	73,012,410口	57,225,255口
3.	元本の欠損		
	純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	1,799,320円	7,368,833円

## （損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期 自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日		当期 自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日		
分配金の計算過程		分配金の計算過程		
自 平成26年 9月23日 至 平成26年10月20日		自 平成27年 3月21日 至 平成27年 4月20日		
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	358,971円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益	351,848円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,302,277円	C 信託約款に定める収益調整金	2,920,266円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,590,461円	D 信託約款に定める分配準備積立 金	9,039,832円
E	分配対象収益（A+B+C+D）	12,251,709円	E 分配対象収益（A+B+C+D）	12,311,946円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,620円	F 分配対象収益(1万口当たり)	1,608円
G	分配金額	377,962円	G 分配金額	382,800円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H 分配金額(1万口当たり)	50円
自 平成26年10月21日 至 平成26年11月20日		自 平成27年 4月21日 至 平成27年 5月20日		
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	416,378円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益	290,753円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,306,613円	C 信託約款に定める収益調整金	2,447,846円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,509,856円	D 信託約款に定める分配準備積立 金	7,499,058円
E	分配対象収益（A+B+C+D）	12,232,847円	E 分配対象収益（A+B+C+D）	10,237,657円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,626円	F 分配対象収益(1万口当たり)	1,603円
G	分配金額	376,137円	G 分配金額	319,188円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H 分配金額(1万口当たり)	50円
自 平成26年11月21日 至 平成26年12月22日		自 平成27年 5月21日 至 平成27年 6月22日		
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	341,006円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益	262,365円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,338,399円	C 信託約款に定める収益調整金	2,246,488円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,510,006円	D 信託約款に定める分配準備積立 金	6,808,226円
E	分配対象収益（A+B+C+D）	12,189,411円	E 分配対象収益（A+B+C+D）	9,317,079円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,621円	F 分配対象収益(1万口当たり)	1,598円
G	分配金額	375,872円	G 分配金額	291,390円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H 分配金額(1万口当たり)	50円
自 平成26年12月23日 至 平成27年 1月20日		自 平成27年 6月23日 至 平成27年 7月21日		

A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	360,376円	A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	269,308円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,312,719円	C	信託約款に定める収益調整金	2,246,707円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,310,432円	D	信託約款に定める分配準備積立 金	6,728,919円
E	分配対象収益(A+B+C+D)	11,983,527円	E	分配対象収益(A+B+C+D)	9,244,934円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,620円	F	分配対象収益(1万口当たり)	1,595円
G	分配金額	369,806円	G	分配金額	289,774円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H	分配金額(1万口当たり)	50円
	自 平成27年 1月21日 至 平成27年 2月20日			自 平成27年 7月22日 至 平成27年 8月20日	
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	337,446円	A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	264,312円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,322,166円	C	信託約款に定める収益調整金	2,227,707円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,282,919円	D	信託約款に定める分配準備積立 金	6,596,475円
E	分配対象収益(A+B+C+D)	11,942,531円	E	分配対象収益(A+B+C+D)	9,088,494円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,615円	F	分配対象収益(1万口当たり)	1,591円
G	分配金額	369,531円	G	分配金額	285,534円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H	分配金額(1万口当たり)	50円
	自 平成27年 2月21日 至 平成27年 3月20日			自 平成27年 8月21日 至 平成27年 9月24日	
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	337,920円	A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	260,040円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C	信託約款に定める収益調整金	2,366,061円	C	信託約款に定める収益調整金	2,246,277円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	9,066,974円	D	信託約款に定める分配準備積立 金	6,575,253円
E	分配対象収益(A+B+C+D)	11,770,955円	E	分配対象収益(A+B+C+D)	9,081,570円
F	分配対象収益(1万口当たり)	1,612円	F	分配対象収益(1万口当たり)	1,586円
G	分配金額	365,062円	G	分配金額	286,126円
H	分配金額(1万口当たり)	50円	H	分配金額(1万口当たり)	50円

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

	前期 自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日	当期 自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左



金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

## 金融商品の時価等に関する事項

	前期 平成27年 3月20日現在	当期 平成27年 9月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

前期（平成27年 3月20日現在）

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	174,708
親投資信託受益証券	0
合計	174,708

当期（平成27年 9月24日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	2,968,242
親投資信託受益証券	0
合計	2,968,242

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

前期 平成27年 3月20日現在		当期 平成27年 9月24日現在	
1口当たり純資産額	0.9754円	1口当たり純資産額	0.8712円
(1万口当たり純資産額)	(9,754円)	(1万口当たり純資産額)	(8,712円)

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）	53,255,355	48,350,536	

投資信託受益証券 合計		53,255,355	48,350,536	
親投資信託受益証券	マネー・アカウント・マザーファンド	52,800	53,027	
親投資信託受益証券 合計		52,800	53,027	
	合計	53,308,155	48,403,563	

(注) 券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

当ファンドは、「アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は同投資信託です。なお、同投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

また、当ファンドは、「マネー・アカウント・マザーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

(参考)

## アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）

### 貸借対照表

	(単位：円)	
	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	348,964	274,736
親投資信託受益証券	68,866,792	48,222,800
流動資産合計	69,215,756	48,497,536
資産合計	69,215,756	48,497,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	242	431
未払委託者報酬	3,509	6,191
その他未払費用	753	29,896
流動負債合計	4,504	36,518
負債合計	4,504	36,518

平成27年 3月20日現在

平成27年 9月24日現在

純資産の部		
元本等		
元本	68,125,522	53,379,129
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	1,085,730	4,918,111
(分配準備積立金)	7,075,130	4,129,557
元本等合計	69,211,252	48,461,018
純資産合計	69,211,252	48,461,018
負債純資産合計	69,215,756	48,497,536

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
-----------------	--

(貸借対照表に関する注記)

		平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
1.	期首	平成26年 9月23日	平成27年 3月21日
	期首元本額	74,588,640円	68,125,522円
	期首からの追加設定元本額	1,242,364円	3,893,043円
	期首からの一部解約元本額	7,705,482円	18,639,436円
2.	受益権の総数	68,125,522口	53,379,129口
3.	元本の欠損		
	純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	- 円	4,918,111円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日	自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

## 金融商品の時価等に関する事項

	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

(平成27年 3月20日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	71,729
合計	71,729

（平成27年 9月24日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	380,444
合計	380,444

（注） 当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

平成27年 3月20日現在		平成27年 9月24日現在	
1口当たり純資産額	1.0159円	1口当たり純資産額	0.9079円
(1万口当たり純資産額)	(10,159円)	(1万口当たり純資産額)	(9,079円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	アジアンボンドマザーファンド	38,439,857	48,222,800	

合計	38,439,857	48,222,800	
----	------------	------------	--

(注)券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）」は、「アジアンボンドマザーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

### アジアンボンドマザーファンド

#### 貸借対照表

(単位：円)

	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	50,691,336	71,572,983
コール・ローン	8,971,113	3,806,654
国債証券	1,365,875,074	1,152,581,105
特殊債券	-	37,201,257
派生商品評価勘定	571,615	-
未収入金	41,747,821	-
未収利息	8,723,432	6,491,120
前払費用	3,523,402	4,088,064
流動資産合計	1,480,103,793	1,275,741,183
資産合計	1,480,103,793	1,275,741,183
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	495,249	-
未払金	44,548,502	24,875,740
未払解約金	5,120,053	-
流動負債合計	50,163,804	24,875,740
負債合計	50,163,804	24,875,740
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,059,531,942	997,112,595
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	370,408,047	253,752,848

元本等合計	1,429,939,989	1,250,865,443
純資産合計	1,429,939,989	1,250,865,443
負債純資産合計	1,480,103,793	1,275,741,183

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び特殊債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>（１）金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>（２）金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>（３）時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

		平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
1.	期首	平成26年 9月23日	平成27年 3月21日
	期首元本額	1,297,192,618円	1,059,531,942円
	期首からの追加設定元本額	902,279円	97,744,616円
	期首からの一部解約元本額	238,562,955円	160,163,963円
	元本の内訳		
	アジアの財産3分法ファンド	1,008,504,384円	958,672,738円
アジア・債券・ファンド（適格機関投資家向け）	51,027,558円	38,439,857円	
計	1,059,531,942円	997,112,595円	
2.	受益権の総数	1,059,531,942口	997,112,595口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

## （金融商品に関する注記）



## 金融商品の状況に関する事項

	自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日	自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

## 金融商品の時価等に関する事項

	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませぬ。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 同左

金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
-------------------------	---	----

(有価証券に関する注記)

(平成27年 3月20日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	3,141,942
合計	3,141,942

(平成27年 9月24日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	7,216,388
特殊債券	158,743
合計	7,375,131

(注) 当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(平成27年 3月20日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	98,109,458	-	98,387,265	277,807
	米ドル	60,574,544	-	60,657,265	82,721
	韓国ウォン	37,534,914	-	37,730,000	195,086

売建	98,109,458	-	98,310,899	201,441
米ドル	37,534,914	-	37,832,587	297,673
シンガポールドル	8,712,000	-	8,701,000	11,000
マレーシアリン ギット	32,690,000	-	32,500,000	190,000
タイバーツ	19,172,544	-	19,277,312	104,768
合計	196,218,916	-	196,698,164	76,366

## (注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(平成27年 9月24日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

平成27年 3月20日現在		平成27年 9月24日現在	
1口当たり純資産額	1.3496円	1口当たり純資産額	1.2545円
(1万口当たり純資産額)	(13,496円)	(1万口当たり純資産額)	(12,545円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
香港ドル	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT-0.79%-16/09/19	2,000,000.00	2,014,118.20	
		HONG KONG GOVERNMENT-0.79%-18/06/18	13,000,000.00	13,065,839.80	
		HONG KONG GOVERNMENT-1.34%-19/06/24	1,000,000.00	1,020,913.30	
		HONG KONG GOVERNMENT-2.31%-21/06/21	1,000,000.00	1,063,583.60	
		HONG KONG GOVERNMENT-2.39%-25/08/20	1,000,000.00	1,069,616.60	
香港ドル小計			18,000,000.00	18,234,071.50 (282,810,448)	
シンガポールドル	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT-1.625%-19/10/01	100,000.00	98,747.34	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-23/07/01	350,000.00	352,254.84	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.375%-25/06/01	800,000.00	775,759.20	
		SINGAPORE GOVERNMENT-3.375%-33/09/01	100,000.00	105,449.60	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-42/04/01	100,000.00	95,274.07	
シンガポールドル小計			1,450,000.00	1,427,485.05 (120,451,188)	
マレーシアリングット	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT-3.955%-25/09/15	1,800,000.00	1,764,005.40	
		MALAYSIAN GOVERNMENT-4.181%-24/07/15	900,000.00	895,538.70	
マレーシアリングット小計			2,700,000.00	2,659,544.10 (73,297,035)	
タイバーツ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND-3.625%-23/06/16	42,000,000.00	44,821,261.80	
タイバーツ小計			42,000,000.00	44,821,261.80 (148,806,589)	
フィリピンペソ	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT-2.125%-18/05/23	6,000,000.00	5,856,556.08	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.875%-19/11/22	10,000,000.00	10,210,898.10	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.375%-20/08/20	3,000,000.00	2,993,283.00	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.5%-21/03/20	5,000,000.00	5,006,734.35	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-6.375%-22/01/19	3,000,000.00	3,478,066.11	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-4.125%-24/08/20	25,000,000.00	25,717,851.25	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.625%-25/09/09	5,000,000.00	4,933,345.00	

		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.625%-33/03/21	15,000,000.00	13,878,371.25	
フィリピンペソ小計			72,000,000.00	72,075,105.14	(185,233,020)
インドネシアルピア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT-5.25%-18/05/15	4,000,000,000.00	3,639,461,600.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-8.25%-21/07/15	4,000,000,000.00	3,830,468,400.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-8.75%-31/05/15	14,000,000,000.00	13,162,800,000.00	
インドネシアルピア小計			22,000,000,000.00	20,632,730,000.00	(169,188,386)
韓国ウォン	国債証券	KOREA TREASURY BOND-3.75%-22/06/10	300,000,000.00	333,907,083.00	
		KOREA TREASURY BOND-3.5%-24/03/10	400,000,000.00	443,699,868.00	
		KOREA TREASURY BOND-4.0%-31/12/10	90,000,000.00	110,980,912.50	
		KOREA TREASURY BOND-3.75%-33/12/10	300,000,000.00	364,911,291.00	
韓国ウォン小計			1,090,000,000.00	1,253,499,154.50	(126,728,764)
インドルピー	国債証券	INDIA GOVERNMENT BOND-7.83%-18/04/11	25,000,000.00	25,172,500.00	
インドルピー小計			25,000,000.00	25,172,500.00	(46,065,675)
香港・オフショア人民元	特殊債券	EXPORT-IMPORT BANK KOREA-4.1%-18/08/06	2,000,000.00	1,991,502.00	
香港・オフショア人民元小計			2,000,000.00	1,991,502.00	(37,201,257)
合計				1,189,782,362	(1,189,782,362)

(注1)通貨種類毎の小計欄の( )内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

#### 外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
香港ドル	国債証券 5銘柄	100.0%	23.7%
シンガポールドル	国債証券 5銘柄	100.0%	10.1%
マレーシアリングット	国債証券 2銘柄	100.0%	6.2%
タイバーツ	国債証券 1銘柄	100.0%	12.5%
フィリピンペソ	国債証券 8銘柄	100.0%	15.6%

インドネシアルピア	国債証券	3銘柄	100.0%	14.2%
韓国ウォン	国債証券	4銘柄	100.0%	10.7%
インドルピー	国債証券	1銘柄	100.0%	3.9%
香港・オフショア人民元	特殊債券	1銘柄	100.0%	3.1%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## マネー・アカウント・マザーファンド

### 貸借対照表

	(単位:円)	
	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
コール・ローン	309,846,060	262,578,155
国債証券	709,999,804	389,999,653
未収利息	480	456
流動資産合計	1,019,846,344	652,578,264
<b>資産合計</b>	1,019,846,344	652,578,264
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
未払金	330,000,000	-
未払解約金	11,570,891	5,609,348
流動負債合計	341,570,891	5,609,348
<b>負債合計</b>	341,570,891	5,609,348
<b>純資産の部</b>		
<b>元本等</b>		
元本	675,412,730	644,180,409
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	2,862,723	2,788,507
元本等合計	678,275,453	646,968,916
<b>純資産合計</b>	678,275,453	646,968,916
<b>負債純資産合計</b>	1,019,846,344	652,578,264

### 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券</p> <p>金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場(外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場)で評価しております。</p>
-----------------	---

	<p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券</p> <p>当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券</p> <p>適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
--	--

## （貸借対照表に関する注記）

		平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
1.	期首	平成26年 9月23日	平成27年 3月21日
	期首元本額	678,524,790円	675,412,730円
	期首からの追加設定元本額	474,914,079円	338,750,167円
	期首からの一部解約元本額	478,026,139円	369,982,488円
	元本の内訳		
	上場インデックスファンド米国株式（S & P 5 0 0）	19,983円	19,983円
	上場インデックスファンド中国H株（ハンセン中国企業株）	19,983円	19,983円
	上場インデックスファンドCNX Nifty先物（インド株式）	19,983円	19,983円
	上場インデックスファンド豪州リート（S & P / A S X 2 0 0 A - R E I T）	19,977円	19,977円
	上場インデックスファンド新興国債券（パークレイズ Local EM国債）	9,981円	9,981円
	上場インデックスファンド海外先進国株式（MSCI - K O K U S A I）	19,997円	19,997円
	上場インデックスファンド海外新興国株式（MSCI エマージング）	99,902円	99,902円
	世界のサイフ2（毎月分配型）	842,822円	653,602円
	資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>（毎月分配型）	35,601,402円	56,417,992円
	資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>（毎月分配型）	535,284円	331,508円
	資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）	3,054,396円	3,333,064円
	世界標準債券ファンド	76,134,392円	59,498,353円
	アジア債券ファンド（毎月分配型）	71,341円	52,800円
	グリーン世銀債ファンド	14,618,656円	10,916,820円
	高金利成長通貨ファンド（毎月分配型）	5,125,049円	3,848,596円
	アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）ブラジルリアル・コース	5,024,331円	2,819,215円
	アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）インドネシアルピア・コース	985,822円	575,374円
	アジアインフラ株ファンド（毎月分配型）インドルピー・コース	1,005,934円	1,278,468円

中華圏株式ファンド(毎月分配型)	27,953,120円	11,824,748円
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	1,625,857円	1,206,750円
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	3,298,452円	2,157,770円
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	64,011,840円	42,126,071円
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)	69,642,207円	87,687,090円
エマージング・プラス・円戦略コース	10,954,886円	7,256,554円
エマージング・プラス・成長戦略コース	51,821,305円	29,643,856円
エマージング・プラス(マネープールファンド)	66,030,031円	43,529,339円
世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	82,801円	73,947円
世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	153,204円	132,011円
世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	99,568円	88,279円
世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルリアルコース	823,274円	895,935円
アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	1,085,555円	1,045,492円
アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	1,295,515円	1,024,754円
R S豪ドル債券ファンド	5,978,333円	5,978,333円
アジアリートファンド(毎月分配型)	451,381円	1,369,856円
オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	224,910円	174,884円
アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	3,046,724円	2,210,523円
アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	18,908,119円	26,546,614円
アジアREITオープン(毎月分配型)	2,005,323円	3,851,850円
シンガポール高配当株式ファンド(毎月分配型)	12,217円	10,645円
ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	12,232,640円	16,217,994円
ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	2,797,087円	2,681,437円
資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	4,110,793円	4,061,763円
USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	1,446,032円	1,203,993円
USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	497,064円	414,318円
インデックスファンドMLP(毎月分配型)	110,046,354円	72,240,179円
インド株式ファンド(毎月分配型)	101,984円	69,580円
世界標準債券ファンド(1年決算型)	1,563,416円	1,253,496円
欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,475,377円	1,326,860円
欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	4,023,541円	2,951,332円
グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	103,757円	81,356円
グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	154,577円	152,998円
グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	1,132,974円	1,734,719円



グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,737,111円	3,062,076円
グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	3,388,567円	4,215,601円
グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	2,620,697円	5,386,402円
インデックスファンドMLP（1年決算型）	4,485,767円	3,799,047円
アジア・ヘルスケア株式ファンド	12,337,733円	89,987,419円
S M B C ・日興 世銀債ファンド	5,131,227円	4,927,745円
日興マネー・アカウント・ファンド	5,719,294円	1,864,936円
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）	13,625,432円	9,009,575円
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）	3,718,816円	2,695,069円
日興G S グロース・マーケット・ファンド	1,866,831円	1,385,062円
日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型（通貨アルファ戦略コース）	1,495,557円	1,021,803円
日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）	78,774円	72,395円
日興グラピティ・ファンド	2,819,924円	1,938,328円
A B グローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジなし	30,563円	48,171円
A B グローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジあり	29,899円	8,741円
A B グローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジなし	17,175円	18,156円
A B グローバル・ハイインカム・オープン（1年決算型）為替ヘッジあり	194,871円	138,436円
インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり（適格機関投資家向け）	1,458,269円	961,967円
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（ヘッジなしコース）	133,231円	130,355円
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（通貨プレミアムコース）	110,661円	110,872円
インデックスファンドMLP・為替ヘッジなし（適格機関投資家向け）	1,012,878円	237,329円
計	675,412,730円	644,180,409円
2. 受益権の総数	675,412,730口	644,180,409口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 平成26年 9月23日 至 平成27年 3月20日	自 平成27年 3月21日 至 平成27年 9月24日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

## 金融商品の時価等に関する事項

	平成27年 3月20日現在	平成27年 9月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

(平成27年 3月20日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	94
合計	94

(平成27年 9月24日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	173
合計	173

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

平成27年 3月20日現在		平成27年 9月24日現在	
1口当たり純資産額	1.0042円	1口当たり純資産額	1.0043円
(1万口当たり純資産額)	(10,042円)	(1万口当たり純資産額)	(10,043円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	第487回国庫短期証券	10,000,000	9,999,940	
	第548回国庫短期証券	80,000,000	79,999,902	
	第550回国庫短期証券	300,000,000	299,999,811	
合計		390,000,000	389,999,653	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2015年10月30日現在です。

### 【アジア債券ファンド（毎月分配型）】

#### 【純資産額計算書】

資産総額	51,543,684円
負債総額	49,817円
純資産総額（ - ）	51,493,867円
発行済口数	57,168,712口
1口当たり純資産額（ / ）	0.9007円

（参考）

### アジア・ボンド・ファンド（適格機関投資家向け）

#### 純資産額計算書

資産総額	50,022,374円
負債総額	45,509円
純資産総額（ - ）	49,976,865円
発行済口数	53,163,201口
1口当たり純資産額（ / ）	0.9401円

### アジアンボンドマザーファンド

#### 純資産額計算書

資産総額	1,283,241,498円
負債総額	円
純資産総額（ - ）	1,283,241,498円
発行済口数	980,764,962口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3084円

### マネー・アカウント・マザーファンド

## 純資産額計算書

資産総額	607,612,721円
負債総額	716,290円
純資産総額（ - ）	606,896,431円
発行済口数	604,264,633口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0044円

### 第三部【委託会社等の情報】

#### 第1【委託会社等の概況】

##### 1【委託会社等の概況】

<更新後>

###### (1) 資本金の額

平成27年10月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減：該当事項はありません。

###### (2) 会社の意思決定機関（平成27年10月末現在）

###### ・株主総会

株主総会は、取締役・監査役の選任および定款変更に係る決議などの株式会社の基本的な方針や重要な事項の決定を行ないます。

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

###### ・取締役会

取締役会は、業務執行の決定を行い、取締役の職務の執行の監督をします。

当社の取締役会は10名以内の取締役で構成され、取締役の任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、代表取締役若干名を選定します。

###### ・監査役会

当社の監査役会は5名以内の監査役で構成され、監査役の任期は選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までを任期とします。監査役会は、その決議をもって常勤の監査役を選定します。

###### (3) 運用の意思決定プロセス（平成27年10月末現在）

1. 投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
2. 各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
3. 各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
4. トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
5. 運用状況の評価・分析および運用リスク管理、ならびに法令など遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

#### 2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。

・委託会社の運用する、平成27年10月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	597	115,454
株式投資信託	542	90,846
単位型	103	3,260
追加型	439	87,585
公社債投資信託	55	24,608
単位型	39	384
追加型	16	24,224
投資法人合計	1	11

### 3【委託会社等の経理状況】

<更新後>

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第56期事業年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

#### （1）【貸借対照表】

<更新後>

	(単位：百万円)			
	第55期 (平成26年3月31日)		第56期 (平成27年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金	3	17,805	3	14,206
有価証券		234		277
前払費用	3	419	3	509
未収入金		37		3
未収委託者報酬		7,162		8,441
未収収益	3	608	3	1,566
関係会社短期貸付金		240		436
立替金		303		666
繰延税金資産		984		1,446
その他	2	30	2	195
流動資産合計		27,826		27,750
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	47	1	56
器具備品	1	134	1	166

有形固定資産合計	181	222
無形固定資産		
ソフトウェア	91	113
無形固定資産合計	91	113
投資その他の資産		
投資有価証券	7,290	14,184
関係会社株式	21,702	21,702
関係会社長期貸付金	60	60
長期差入保証金	692	740
長期前払費用	-	0
繰延税金資産	525	248
投資その他の資産合計	30,271	36,936
固定資産合計	30,544	37,273
資産合計	58,371	65,023

(単位：百万円)

	第55期 (平成26年3月31日)	第56期 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	329	387
未払金	3,404	5,545
未払収益分配金	6	6
未払償還金	112	112
未払手数料	3 2,743	3 3,145
その他未払金	542	2,282
未払費用	3 3,239	3 4,636
未払法人税等	2,286	814
未払消費税等	4 356	4 1,070
賞与引当金	1,935	1,990
役員賞与引当金	150	120
その他	-	3 82
流動負債合計	11,702	14,646
固定負債		
退職給付引当金	1,081	1,111
その他	55	-
固定負債合計	1,137	1,111
負債合計	12,840	15,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,363	17,363
資本剰余金		
資本準備金	5,220	5,220
資本剰余金合計	5,220	5,220
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	22,694	25,836



利益剰余金合計	22,694	25,836
自己株式	68	68
株主資本合計	45,209	48,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	321	1,002
繰延ヘッジ損益	-	88
評価・換算差額等合計	321	913
純資産合計	45,531	49,265
負債純資産合計	58,371	65,023

## (2) 【損益計算書】

&lt; 更新後 &gt;

	(単位：百万円)	
	第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	63,120	63,990
その他営業収益	2,557	3,729
営業収益合計	65,678	67,719
営業費用		
支払手数料	31,207	30,408
広告宣伝費	1,081	1,045
公告費	2	5
調査費	13,405	15,571
調査費	712	747
委託調査費	12,669	14,782
図書費	23	41
委託計算費	465	502
営業雑経費	558	660
通信費	186	199
印刷費	252	263
協会費	43	64
諸会費	11	27
その他	65	106
営業費用計	46,721	48,193
一般管理費		
給料	7,171	7,585
役員報酬	316	289
役員賞与引当金繰入額	150	120
給料・手当	4,719	5,127
賞与	50	59
賞与引当金繰入額	1,935	1,990
交際費	108	163
寄付金	54	36
旅費交通費	448	503
租税公課	209	208
不動産賃借料	755	785
退職給付費用	313	349

退職金	32	16
固定資産減価償却費	109	148
福利費	847	908
諸経費	2,517	2,673
一般管理費計	12,568	13,380
営業利益	6,388	6,146

(単位：百万円)

	第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
営業外収益				
受取利息		17		10
受取配当金	1	1,774	1	1,152
有価証券償還益		-		13
時効成立分配金・償還金		4		1
為替差益		26		-
その他		19		107
営業外収益合計		1,842		1,285
営業外費用				
支払利息		19		28
有価証券償還損		-		81
デリバティブ費用		-		269
時効成立後支払分配金・償還金		22		295
支払源泉所得税		57		71
為替差損		-		26
その他		13		21
営業外費用合計		114		795
経常利益		8,116		6,636
特別利益				
投資有価証券売却益		135		270
特別利益合計		135		270
特別損失				
投資有価証券売却損		12		22
関係会社株式評価損		4,500		-
固定資産処分損		0		0
割増退職金		59		243
役員退職一時金		235		-
外国税関連費用		-	2	1,650
特別損失合計		4,807		1,916
税引前当期純利益		3,445		4,991
法人税、住民税及び事業税		3,020		2,356
法人税等調整額		119		466
法人税等合計		2,900		1,890
当期純利益		544		3,101

## (3) 【株主資本等変動計算書】

&lt; 更新後 &gt;

第55期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	23,530	23,530	68	46,045
会計方針の変更による累積的影響額							-
会計方針の変更を反映した当期首残高	17,363	5,220	5,220	23,530	23,530	68	46,045
当期変動額							
剰余金の配当				1,380	1,380		1,380
当期純利益				544	544		544
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	836	836	-	836
当期末残高	17,363	5,220	5,220	22,694	22,694	68	45,209

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	362	362	46,408
会計方針の変更による累積的影響額		-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	362	362	46,408
当期変動額			
剰余金の配当			1,380
当期純利益			544
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	40	40	40
当期変動額合計	40	40	876
当期末残高	321	321	45,531

第56期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	22,694	22,694	68	45,209
会計方針の変更による累積的影響額				41	41		41

会計方針の変更を反映した当期首残高	17,363	5,220	5,220	22,735	22,735	68	45,250
当期変動額							
当期純利益				3,101	3,101		3,101
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	3,101	3,101	-	3,101
当期末残高	17,363	5,220	5,220	25,836	25,836	68	48,351

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	321	-	321	45,531
会計方針の変更による累積的影響額			-	41
会計方針の変更を反映した当期首残高	321	-	321	45,572
当期変動額				
当期純利益				3,101
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	680	88	591	591
当期変動額合計	680	88	591	3,692
当期末残高	1,002	88	913	49,265

## [注記事項]

(重要な会計方針)

項目	第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定) 時価のないもの 総平均法による原価法</p> <p>(2) デリバティブ 時価法</p>
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 3年～15年 器具備品 4年～20年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によりしております。</p>

3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p>
4 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針 ヘッジ取引規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p>
5 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。</p>

(会計方針の変更)

<p>第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)</p>
<p>「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当事業年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を平均残存勤務年数に対応した高格付社債の流通利回りを基礎とする方法から退職給付の支払見込期間及び期間毎の金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従い、当事業年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を繰越利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、当事業年度の期首の退職給付引当金が63百万円減少、繰延税金資産が22百万円減少、繰越利益剰余金が41百万円増加しております。また、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益への影響は軽微であります。なお、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額に対する影響額は、軽微であります。</p>

(表示方法の変更)

<p>第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)</p>
--

## （損益計算書関係）

前事業年度において、「一般管理費」の「諸経費」に含めていた「福利費」は、重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「一般管理費」の「諸経費」に表示していた3,364百万円は、「福利費」847百万円、「諸経費」2,517百万円として組み替えております。

## （貸借対照表関係）

第55期 (平成26年3月31日)	第56期 (平成27年3月31日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,091百万円</p> <p>器具備品 625百万円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,122百万円</p> <p>器具備品 679百万円</p>
<p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p>	<p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他のうち30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p>
<p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 6,249百万円</p> <p>前払費用 2百万円</p> <p>未収収益 74百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>未払手数料 98百万円</p> <p>未払費用 274百万円</p>	<p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 4,256百万円</p> <p>前払費用 2百万円</p> <p>未収収益 110百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>未払手数料 108百万円</p> <p>未払費用 500百万円</p> <p>その他 57百万円</p>
<p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p>	<p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p>
<p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務65百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソン タワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務159百万円に対して保証を行っております。</p>	<p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務27百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソン タワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務842百万円に対して保証を行っております。</p>

## （損益計算書関係）

第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 1,290百万円</p>	<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 719百万円</p> <p>2 外国税関連費用1,650百万円は、中国税務当局等が平成26年10月31日付に発した「通達79号」に基づき、平成21年11月17日から平成26年11月16日までのQFII(Qualified Foreign Institutional Investors)口座を通じて取得した中国A株の譲渡所得に対して税率10%で遡及課税される金額を合理的に計算したものであります。中国A株に投資している当社の対象ファンドは「中国A株マザーファンド」及び「中国A株CSI300インデックスマザーファンド」の2ファンドであり、ファンドの当時の受益者に負担を求めることが事実上不可能であるため、当社が負担しております。</p>
--	--

## (株主資本等変動計算書関係)

第55期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)

## 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

## 2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	109,600	-	-	109,600

## 3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年度末残高(百万円)
		当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末	
平成21年度ストックオプション(1)	普通株式	16,978,500	-	1,075,800	15,902,700	-
平成21年度ストックオプション(2)	普通株式	1,626,900	-	59,400	1,567,500	-
平成22年度ストックオプション(1)	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第1回新株予約権	普通株式	2,955,200	-	-	2,955,200	-
平成23年度ストックオプション(1)	普通株式	5,930,100	-	541,200	5,388,900	-
合計		29,800,700	-	1,676,400	28,124,300	-

- (注) 1 平成21年度ストックオプション(1)、平成21年度ストックオプション(2)及び平成23年度ストックオプション(1)の減少は、新株予約権の失効によるものであります。
- 2 第1回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に6を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。
- 3 平成21年度ストックオプション(1)15,902,700株、平成21年度ストックオプション(2)1,567,500株、平成22年度ストックオプション(1)2,310,000株、第1回新株予約権2,955,200株及び平成23年度ストックオプション(1)2,887,500株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。

## 4 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月27日 取締役会	普通株式	1,380	7.01	平成25年3月31日	平成25年6月18日

- (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
該当事項はありません。

## 第56期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

## 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

## 2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	109,600	-	-	109,600

## 3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年度末残高 (百万円)
		当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末	
平成21年度 ストックオプション(1)	普通株式	15,902,700	-	-	15,902,700	-
平成21年度 ストックオプション(2)	普通株式	1,567,500	-	-	1,567,500	-
平成22年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第1回新株予約権	普通株式	2,955,200	-	2,955,200	-	-
平成23年度 ストックオプション(1)	普通株式	5,388,900	-	359,700	5,029,200	-
合計		28,124,300	-	3,314,900	24,809,400	-

- (注) 1 平成23年度ストックオプション(1)の減少は、新株予約権の失効によるものであります。  
2 第1回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に6を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。なお、当該新株予約権は平成27年2月8日に失効いたしました。  
3 平成21年度ストックオプション(1)15,902,700株、平成21年度ストックオプション(2)1,567,500株、平成22年度ストックオプション(1)2,310,000株及び平成23年度ストックオプション(1)4,075,500株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。

## 4 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

該当事項はありません。

- (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年5月25日 取締役会	普通株式	利益剰余金	850	4.32	平成27年3月31日	平成27年6月30日



## (リース取引関係)

第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料
1年内 751百万円	1年内 841百万円
1年超 77百万円	1年超 3,420百万円
合計 828百万円	合計 4,261百万円

## (金融商品関係)

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

## 1 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬、未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻または債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

## 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金を預入れる金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、または必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

## 市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また投資有価証券に関しては、毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュエーション・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。これらの結果、当社の財政状態、経営成績に与える影響が著しいと判断される場合には、必要に応じて、ヘッジ取引規程に則り、それを回避する目的で、ヘッジ取引を行うことが可能であります。

## 流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

## 2 金融商品の時価等に関する事項

平成26年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額( )	時価( )	差額
(1) 現金・預金	17,805	17,805	-
(2) 未収委託者報酬	7,162	7,162	-
(3) 未収収益	608	608	-
(4) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	7,457	7,457	-
(5) 未払金	(3,404)	(3,404)	-
(6) 未払費用	(3,239)	(3,239)	-

( ) 負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

### (注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

#### (1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (4) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

#### (5) 未払金及び(6) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額66百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額18,809百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	17,805	-	-	-
未収委託者報酬	7,162	-	-	-
未収収益	608	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	234	315	1,166	973
合計	25,811	315	1,166	973

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

### 1 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引

については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシドマネの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計(繰延ヘッジ)を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針」4「ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

営業債務である未払金(未払手数料)、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金(未払手数料)については、債権(未収委託者報酬)を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

### 信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

### 市場リスク(為替や価格等の変動リスク)の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益(ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益)を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。

### 流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性(最低限必要な運転資金)を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

## 2 金融商品の時価等に関する事項

平成27年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位:百万円)

	貸借対照表 計上額( 1)	時価( 1)	差額
(1) 現金・預金	14,206	14,206	-
(2) 未収委託者報酬	8,441	8,441	-
(3) 未収収益	1,566	1,566	-
(4) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	14,431	14,431	-
(5) 未払金	(5,545)	(5,545)	-
(6) 未払費用	(4,636)	(4,636)	-
(7) デリバティブ取引( 2) ヘッジ会計が適用されていないもの	(25)	(25)	-
ヘッジ会計が適用されているもの デリバティブ取引計	(57) (82)	(57) (82)	- -

( 1) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

( 2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(5) 未払金及び(6) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(7) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、上記金額は貸借対照表上、流動負債のその他に含まれております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額30百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(貸借対照表計上額18,809百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	14,206	-	-	-
未収委託者報酬	8,441	-	-	-
未収収益	1,566	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	277	1,219	3,205	1,232
合計	24,492	1,219	3,205	1,232

(有価証券関係)

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

## 1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	18,809
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

## 2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	投資信託	3,819	3,188	631
	小計	3,819	3,188	631
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	投資信託	3,637	3,768	130
	小計	3,637	3,768	130
合計		7,457	6,957	500

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 66百万円）については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

## 3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	23	11	-
投資信託	1,734	124	12
合計	1,758	135	12

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

## 1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	18,809
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

## 2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
--	----	----------	------	----

貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	投資信託	12,839	11,293	1,546
	小計	12,839	11,293	1,546
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	投資信託	1,591	1,656	64
	小計	1,591	1,656	64
合計		14,431	12,949	1,482

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 30百万円）については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

### 3 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	3,661	270	22
合計	3,661	270	22

### （デリバティブ取引関係）

第55期(平成26年3月31日)

該当事項はありません。

第56期(平成27年3月31日)

#### 1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

##### （1）株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,337	-	25	25
	買建	-	-	-	-
合計		2,337	-	25	25

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

#### 2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

#### 2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

##### （1）通貨関連

ヘッジ 会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主な ヘッジ 対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理方	為替予約取引 売建 米ドル	投資有価	2,586	-	68

法	豪ドル	証券	276	-	8
	シンガポールドル		878	-	4
	ユーロ		219	-	1
合計			3,961	-	57

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(持分法損益等)

第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)		関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)	
(1) 関連会社に対する投資の金額	3,065	(1) 関連会社に対する投資の金額	3,078
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	7,660	(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	9,396
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,379	(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,720

(退職給付関係)

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,101
勤務費用	110
利息費用	9
数理計算上の差異の発生額	9
退職給付の支払額	56
退職給付債務の期末残高	1,174

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,174
未積立退職給付債務	1,174
未認識数理計算上の差異	92
貸借対照表に計上された負債の額	1,081
退職給付引当金	1,081
貸借対照表に計上された負債の額	1,081

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	110
利息費用	9
数理計算上の差異の費用処理額	16
確定給付制度に係る退職給付費用	137

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎 割引率	0.8%
--------------------------------	------

## 3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、176百万円でありました。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

## 1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

## 2 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,174
会計方針の変更による累積的影響額	63
会計方針の変更を反映した期首残高	1,110
勤務費用	126
利息費用	7
数理計算上の差異の発生額	47
退職給付の支払額	59
退職給付債務の期末残高	1,233

## (2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,233
未積立退職給付債務	1,233
未認識数理計算上の差異	121
貸借対照表に計上された負債の額	1,111
退職給付引当金	1,111
貸借対照表に計上された負債の額	1,111

## (3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	126
利息費用	7
数理計算上の差異の費用処理額	18
確定給付制度に係る退職給付費用	152

## (4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	0.6%
-----	------

## 3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、196百万円でありました。

(ストックオプション等関係)

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

## 1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

## (1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)



付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

## (2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

### ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定前(株)		
期首	16,978,500	1,626,900

付与	0	0
失効	1,075,800	59,400
権利確定	0	0
権利未確定残	15,902,700	1,567,500
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8月20日	平成23年10月 7日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	5,930,100
付与	0	0
失効	0	541,200
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	5,388,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

#### 単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2月 8日	平成22年 8月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

(注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

- 2 ストックオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額  
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円
- 3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

## 1 ストックオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

## (1) ストックオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

(注) 株式数に換算して記載しております。

## (2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

## ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利確定前(株)		
期首	15,902,700	1,567,500
付与	0	0
失効	0	0
権利確定	0	0
権利未確定残	15,902,700	1,567,500
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月 7 日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	5,388,900
付与	0	0
失効	0	359,700
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	5,029,200
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

## 単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3

付与日における公正な評価単価 (円) (注)1	0	0
----------------------------	---	---

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値(取引事例比準法による評価額と行使価格との差額)の見積りによっております。
- 2 ストックオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額  
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円
- 3 株式公開価格が737円(割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。)を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

## (税効果会計関係)

第55期 (平成26年3月31日)		第56期 (平成27年3月31日)	
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主 原因別の内訳		1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主 原因別の内訳	
	(単位:百万円)		(単位:百万円)
繰延税金資産(流動)		繰延税金資産(流動)	
賞与引当金	689	賞与引当金	658
その他	294	その他	813
小計	984	小計	1,472
繰延税金資産(固定)		繰延税金資産(固定)	
投資有価証券評価損	148	投資有価証券評価損	134
関係会社株式評価損	1,665	関係会社株式評価損	1,510
退職給付引当金	385	退職給付引当金	360
固定資産減価償却費	158	固定資産減価償却費	133
その他	34	その他	73
小計	2,391	小計	2,213
繰延税金資産小計	3,375	繰延税金資産小計	3,685
評価性引当金	1,665	評価性引当金	1,510
繰延税金資産合計	1,710	繰延税金資産合計	2,174
繰延税金負債(固定)		繰延税金負債(流動)	
その他有価証券評価差額金	200	その他有価証券評価差額金	25
繰延税金負債合計	200	小計	25
繰延税金資産の純額	1,510	繰延税金負債(固定)	
		その他有価証券評価差額金	454
		小計	454
		繰延税金負債合計	480
		繰延税金資産の純額	1,694

<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">38.0%</td> </tr> <tr> <td>評価性引当金の増減</td> <td style="text-align: right;">46.6%</td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">3.7%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">12.9%</td> </tr> <tr> <td>税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td> <td style="text-align: right;">1.9%</td> </tr> <tr> <td>海外子会社の留保利益の影響額等</td> <td style="text-align: right;">6.9%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">84.2%</td> </tr> </table> <p>3 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)の施行に伴い、「復興特別法人税に関する政令の一部を改正する政令」(平成26年政令第151号)が平成26年3月31日に公布されたことにより、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、平成26年4月1日に開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異について、当社が使用した法定実効税率は38.0%から35.6%に変更されております。この結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は65百万円減少し、その他有価証券評価差額金の金額が1百万円、法人税等調整額の金額が63百万円、それぞれ増加しております。</p>	法定実効税率 (調整)	38.0%	評価性引当金の増減	46.6%	交際費等永久に損金に算入されない項目	3.7%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	12.9%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	1.9%	海外子会社の留保利益の影響額等	6.9%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	84.2%	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">35.6%</td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">1.3%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">4.3%</td> </tr> <tr> <td>税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td> <td style="text-align: right;">3.6%</td> </tr> <tr> <td>海外子会社の留保利益の影響額等</td> <td style="text-align: right;">1.7%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">37.9%</td> </tr> </table> <p>3 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)の施行に伴い平成26年4月1日に開始する事業年度から、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33.1%に、平成28年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.3%となります。この結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は135百万円、繰延ヘッジ損益が4百万円、それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が48百万円、法人税等調整額が179百万円、それぞれ増加しております。</p>	法定実効税率 (調整)	35.6%	交際費等永久に損金に算入されない項目	1.3%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	4.3%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.6%	海外子会社の留保利益の影響額等	1.7%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	37.9%
法定実効税率 (調整)	38.0%																										
評価性引当金の増減	46.6%																										
交際費等永久に損金に算入されない項目	3.7%																										
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	12.9%																										
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	1.9%																										
海外子会社の留保利益の影響額等	6.9%																										
税効果会計適用後の法人税等の負担率	84.2%																										
法定実効税率 (調整)	35.6%																										
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.3%																										
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	4.3%																										
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.6%																										
海外子会社の留保利益の影響額等	1.7%																										
税効果会計適用後の法人税等の負担率	37.9%																										

## ( 関連当事者情報 )

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

## 1 関連当事者との取引

## (1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

## (ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

## (イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千SGD)	事業の 内容	議決権 等の所有(被所有) 割合 (%)	関連 当事者 との 関係	取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
						資金の	資金の 貸付 (シンガ ポール ドル貸 建) (注1)	398 (千 SGD 5,059) (注2)	関係 会社 短期 貸付 金	240 (千 SGD 2,940)

子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	292,000	アセットマネジメント業	直接 100.00	貸付	貸付金 利息 (シンガ ポール ドル貸 建) (注1)	15 (千 SGD 192)	未収 収益	5 (千 SGD 64)
						-	増資の 引受 (注3)	3,266 (千 SGD 40,000)	-	-

## (注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠SGD11百万、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 資金の貸付に係る取引金額 398百万円( 5,059千 SGD)の内訳は、貸付240百万円(2,940千 SGD)及び返済638百万円(8,000千 SGD)であります。
- Nikko Asset Management International Limitedの行った40,000,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。

## 2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

## (1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)  
三井住友信託銀行株式会社(非上場)

## (2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成25年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	15,790百万円
負債合計	1,713百万円
純資産合計	14,076百万円
営業収益	11,350百万円
税引前当期純利益	4,212百万円
当期純利益	3,096百万円

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

## 1 関連当事者との取引

## (1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社  
重要な該当事項はありません。

## (イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千SGD)	事業の 内容	議決権 等の所 有(被所 有)割合 (%)	関連 当事 者 との 関係	取引の 内容	取引金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
子会	Nikko Asset Management	シンガ		アセット	直接	資金の	資金の 貸付 (シンガ ポール ドル貸 建) (注1)	184 (千 SGD 2,059) (注2)	関係 会社 短期 貸付 金	436 (千 SGD 5,000)

社	International Limited	ポール国	292,000	マネジメ ント業	100.00	貸付	貸付金 利息 (シンガ ポール ドル貸 建) (注1)	7 (千 SGD 92)	未収 収益	7 (千 SGD 82)
---	-----------------------	------	---------	-------------	--------	----	---	--------------------	----------	--------------------

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 融資枠SGD11百万、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 2 資金の貸付に係る取引金額184百万円(2,059千 SGD)の内訳は、貸付424百万円(5,000千 SGD)及び返済240百万円(2,940千 SGD)であります。

## 2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

### (1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)  
三井住友信託銀行株式会社(非上場)

### (2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロンドン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成26年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	23,832百万円
負債合計	6,549百万円
純資産合計	17,283百万円
営業収益	15,406百万円
税引前当期純利益	4,977百万円
当期純利益	3,441百万円

### (セグメント情報等)

#### セグメント情報

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

#### 関連情報

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

##### 1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

##### 2 地域ごとの情報

###### (1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。



## ( 2 ) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

## 2 地域ごとの情報

## ( 1 ) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

## ( 2 ) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

## 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

## 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

## 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第55期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

第56期(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

## ( 1 株当たり情報 )

項目	第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり純資産額	231円23銭	250円20銭
1株当たり当期純利益金額	2円76銭	15円74銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

## 2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第55期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		第56期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	当期純利益(百万円)	544		3,101
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-		-	
普通株式に係る当期純利益(百万円)	544		3,101	
普通株式の期中平均株式数(千株)	196,903		196,903	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成21年度ストックオプション(1) 15,902,700株、 平成21年度ストックオプション(2) 1,567,500株、 平成22年度ストックオプション(1) 2,310,000株、 第1回新株予約権2,955,200株、 平成23年度ストックオプション(1) 5,388,900株		平成21年度ストックオプション(1) 15,902,700株、 平成21年度ストックオプション(2) 1,567,500株、 平成22年度ストックオプション(1) 2,310,000株、 平成23年度ストックオプション(1) 5,029,200株	

## 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第55期 (平成26年3月31日)		第56期 (平成27年3月31日)	
	純資産の部の合計額(百万円)	45,531		49,265
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-		-	
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	45,531		49,265	
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	196,903		196,903	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

&lt;更新後&gt;

## (1) 受託会社

名 称	資本金の額 (平成27年3月末現在)	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

&lt;再信託受託会社の概要&gt;

名称 : 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額 : 51,000百万円(平成27年3月末現在)

事業の内容 : 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的 : 原信託契約にかかる信託業務の一部(信託財産の管理)を原信託受託者から再信託受託者(日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託者へ移管することを目的とします。

&lt;更新後&gt;

## (2) 販売会社

名 称	資本金の額 (平成27年3月末現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	47,937百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社関西アーバン銀行	47,039百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社中京銀行	31,844百万円	

### 3【資本関係】

<更新後>

#### (1) 受託会社

三井住友信託銀行株式会社は、日興アセットマネジメント株式会社の発行済株式総数の91.29%を保有しております。(平成27年3月末現在)

## 独立監査人の監査報告書

平成27年10月28日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

### PWCあらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員指定社員 公認会計士 辻村 和之  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているアジア債券ファンド（毎月分配型）の平成27年3月21日から平成27年9月24日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、アジア債券ファンド（毎月分配型）の平成27年9月24日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成27年6月15日

日興アセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 羽 太 典 明  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 秋 宗 勝 彦  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第56期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1.上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。